

【 別紙1 】

審査評価基準項目

評価項目	評価項目 ( 着目点)	配点割合	評価点数				
		(%)	優秀	良	普通	やや劣る	劣る
計画	外観は、地域や風土に溶け込むデザインである ( 周辺の景色との調和、50年後の姿)	10	7.5	5	2.5	0	
	外構と配置計画は、良好な住環境を構成している ( 植栽、動線、日照、安全、プライバシー)	10	7.5	5	2.5	0	
	住戸は、生活しやすいプランとなっている ( 間取り、設備、収納、動線、プライバシー)	10	7.5	5	2.5	0	
	経済的な設計・計画である ( 住戸数、イニシャルコスト、ランニングコスト)	10	7.5	5	2.5	0	
施工	安定した施工体制が整っている ( 施工品質の確保、材料管理、作業員宿舍)	10	7.5	5	2.5	0	
	確実に履行できるスケジュールが組まれている ( 工期短縮の取組、天候不良による遅延対応)	10	7.5	5	2.5	0	
	修繕・改築は、他事業者による施工が可能である ( 独自工法等で不可の場合、内容を示すこと)	10	7.5	5	2.5	0	
	住宅設備故障時の体制が整っている ( 対応窓口・対応方法を示すこと)	10	7.5	5	2.5	0	
環境	地域性・環境を考慮した材料選定に努めている ( 県産国産材、自然素材、塩害対応、長寿命)	10	7.5	5	2.5	0	
	環境負荷の低減への積極的な提案がある ( 性能、再エネ、省エネ、廃棄物の減量化等)	10	7.5	5	2.5	0	
その他	特質すべき利点や魅力がある提案である	10	7.5	5	2.5	0	